

7. 受賞等

ここでは、気象研究所の職員が平成 17 年度に受けた他機関からの表彰、及び取得した学位の一覧を掲載している。

受賞には、受賞者の氏名、賞の名称、表彰した機関名、表彰年月日を掲載している。
学位取得には、学位取得者の氏名、学位名、学位授与大学、取得年月日及び学位取得の対象となった論文名を掲載している。

7.1. 受賞

斉藤和雄 日本気象協会岡田賞、(財)日本気象協会、平成 17 年 9 月 18 日

青木輝夫 日本雪氷学会学術賞、日本雪氷学会、平成 17 年 9 月 28 日

7.2. 学位取得

黒木英州

学 位：理学博士（東京工業大学、平成 18 年 3 月 31 日）

学位論文：3-D simulation of crustal deformation associated with subduction in the Tokai region, central Japan（東海地域における 3 次元地殻変動シミュレーション）

佐々木秀孝

学 位：理学博士（京都大学、平成 18 年 3 月 23 日）

学位論文：スペクトル境界結合法を用いた領域型高分解能気候モデルの開発とその応用

8. 研究交流

ここでは、気象研究所の職員が平成 17 年度に行った外国出張、気象研究所が平成 17 年度に他機関から受け入れた研究者、及び海外研究機関からの来訪者の一覧を掲載している。

8.1. 外国出張

- 青木輝夫
 - ・第 1 回気候と雪氷圏計画科学会議、中華人民共和国、H17.4.11～14
 - ・IGARSS2005、大韓民国、H17.7.25～30
- 青梨和正
 - ・降雪の全球マイクロ波モデリングとリトリーバルについての IPWG/GRP/GPM ワークショップ、アメリカ合衆国、H17.10.10～15
 - ・第 9 回マイクロ波放射計とそのリモートセンシングへの応用に関する専門家会議、アメリカ自治領プエルトリコ、H18.2.26～3.5
- 青山道夫
 - ・2006 年海洋科学会議、アメリカ合衆国、H18.2.21～25
- 石井雅男
 - ・第 7 回国際二酸化炭素会議、アメリカ合衆国、H17.9.25～10.2
 - ・2006 年海洋科学会議、アメリカ合衆国、H18.2.20～25
- 石川一郎
 - ・2006 年海洋科学会議、アメリカ合衆国、H18.2.19～26
- 石崎士郎
 - ・第 4 回 WMO 気象学と海洋学における観測データの同化に関する国際シンポジウム、チェコ、H17.4.17～24
- 石元裕史
 - ・2006 年大気放射観測計画科学者会議及びマイクロ波放射計に関する研究打合せ、アメリカ合衆国、H18.3.26～31
- 伊藤秀美
 - ・ISC 管理理事会及び IASPEI 総会、チリ、H17.9.30～10.11
- 井上豊志郎
 - ・GEWEX (3RD PAN-GCSS MEETING ON CLOUDS, CLIMATE AND MODELS) 会議、ギリシャ、H17.5.15～21
 - ・雲のパラメタリゼーションとモデル作業グループ会議、アメリカ合衆国、H17.10.11～15
 - ・深い対流雲のライフサイクル解析法の改良についての打合せ、ブラジル、H17.11.8～14
 - ・第 86 回米国気象学会年会、アメリカ合衆国、H18.1.29～2.2
 - ・2006 年大気放射観測計画科学者会議及びマイクロ波放射計に関する研究打合せ、アメリカ合衆国、H18.3.26～31
- 碓氷典久
 - ・第 4 回 WMO 気象学と海洋学における観測データの同化に関する国際シンポジウム、チェコ、H17.4.17～24
 - ・国際シンポジウム「衛星高度計観測における 15 年間の進展」、イタリア、H18.3.12～20
- 内山明博
 - ・ハワイ島における日射計検定観測(機器の設置・調整)、アメリカ合衆国、H17.11.7～13
 - ・中国での散乱・吸収係数測定装置による試験観測及び放射計の保守、中華人民共和国、H18.3.9～21
- 永戸久喜
 - ・降雪の全球マイクロ波モデリングとリトリーバルについての IPWG/GRP/GPM ワークショップ、アメリカ合衆国、H17.10.10～15
- 加藤輝之
 - ・第 2 回アジア・オセアニア地球物理学会 2005 年大会、シンガポール、H17.6.19～25
- 蒲地政文
 - ・第 4 回 WMO 気象学と海洋学における観測データの同化に関する国際シンポジウム、チェコ、H17.4.17～24
- 上口賢治
 - ・第 86 回米国気象学会年会、アメリカ合衆国、H18.1.28～2.4

- 川畑拓矢
- ・第 6 回非静力学モデルに関する短期数値予報国際ワークショップ、ドイツ、H17.10.30～11.4
- 吉崎正憲
- 鬼頭昭雄
- ・2005 年 American Geophysical Union (AGU) 参加、アメリカ合衆国、H17.5.23～29
 - ・古気候モデリング相互比較実験会議、フランス、H17.4.2～10
 - ・IPCC 第一作業部会第 2 回執筆者会合、中華人民共和国、H17.5.9～13
 - ・Pan-WCRP Monsoon WS 及び 5th International Scientific Conference GEWEX、アメリカ合衆国、H17.6.14～26
 - ・20 世紀の気候シミュレーションプロジェクト/季節から年々の予測作業部会合同国際会議、チェコ、H17.7.3～8
 - ・国際気象学・大気科学協会 2005 年科学会議、中華人民共和国、H17.8.4～12
 - ・第 5 回アジアモンスーンシステムに関する国際会議、大韓民国、H17.10.10～16
 - ・第 3 回 KAGI21 国際シンポジウム、中華人民共和国、H17.11.7～11
 - ・IPCC 第一作業部会第 3 回執筆者会合、ニュージーランド、H17.12.11～16
 - ・IPCC 第 4 次評価報告書第 11 章アジア地区会議、大韓民国、H18.2.1～3
 - ・CLIVAR 太平洋パネル会合、アメリカ合衆国、H18.2.15～19
 - ・東アジア気候モデリング相互比較ワークショップ、台湾、H18.3.30～4.3
- 楠 昌司
- ・IAMAS2005、中華人民共和国、H17.8.5～12
 - ・第 86 回米国気象学会年会、アメリカ合衆国、H18.1.28～2.4
- 工藤 玲
- 黒田友二
- ・ハワイ島における日射計検定観測（機器の撤収）、アメリカ合衆国、H17.12.5～9
 - ・第 13 回中層大気会議、第 15 回大気海洋流体力学会議及び第 17 回気候変動会議、アメリカ合衆国、H17.6.12～19
 - ・ICMA/IAGA2005 年科学会議、フランス、H17.7.17～28
 - ・アメリカ地球物理学連合 2005 年秋季大会、アメリカ合衆国、H17.12.4～11
- 小寺邦彦
- ・EGU2005 年総会、オーストリア、H17.4.23～5.1
 - ・ベルリン自由大学における研究打合せ及び ICMA/IAGA2005 年科学会議、ドイツ及びフランス、H17.7.13～28
 - ・第 3 回 SORCE 科学会合、アメリカ合衆国、H17.9.12～18
 - ・SPARC 推進委員会及びレディング大学における研究打合せ、英国、H17.9.24～10.1
 - ・延世大学における研究打合せ及び第 5 回アジアモンスーンシステムに関する国際会議、大韓民国、H17.10.9～15
 - ・ゴダード宇宙科学研究所及び米国大気科学研究センターにおける研究打合せ、アメリカ合衆国、H18.1.18～2.2
- 小林隆久
- 斉藤和雄
- ・32nd Conference on Radar Meteorology、アメリカ合衆国、H17.10.23～30
 - ・WWRP 水文気象試験台専門家会議、アメリカ合衆国、H17.5.16～21
 - ・国際気象学・大気科学協会 2005 年科学会議、中華人民共和国、H17.8.7～12
 - ・大気科学委員会 (CAS) 熱帯気象研究作業部会会合並びに香港天文台における最新の数値予報技術の動向及びシビアウェザー予測技術に係る意見交換、中華人民共和国、H17.12.11～17
 - ・熱帯性気象予報の地域モデルに関する国際ワークショップ、インドネシア、H18.2.28～3.5
- 澤 庸介
- ・第 7 回国際二酸化炭素会議、アメリカ合衆国、H17.9.25～10.2
 - ・日韓の共同観測に関する意見交換、大韓民国、H17.12.12～15
- 柴田清孝
- ・ICMA/IAGA2005 年科学会議、フランス、H17.7.17～28
 - ・第 3 回空気質マネジメント国際シンポジウム、トルコ、H17.9.25～10.2

- ・ 化学-気候モデル検証活動 2005 年ワークショップ、アメリカ合衆国、H17.10.16~21
 - ・ アメリカ地球物理学連合 2005 年秋季大会、アメリカ合衆国、H17.12.4~11
 - ・ 対流起源による重力波に関する延世大学との協議、大韓民国、H18.1.23~25
 - ・ 米国大気科学研究センターにおける研究打合せ、アメリカ合衆国、H18.2.5~13
 - ・ SCOSTEP 第 11 回太陽地球物理シンポジウム「太陽、宇宙物理、気候」、ブラジル、H18.3.4~13
- 杉 正人
- ・ WMO 技術会議「資源としての気候」及び第 14 回気候委員会会合、中華人民共和国、H17.10.31~11.11
 - ・ CLIVAR 季節から年々スケールの予測に関する作業部会第 10 回会合、ニュージーランド、H18.2.11~17
- 瀬古 弘
千葉 長
辻野博之
時枝隆之
中澤哲夫
- ・ 熱帯性気象予報の地域モデルに関する国際ワークショップ、インドネシア、H18.2.28~3.5
 - ・ 第 3 回空気質マネジメント国際シンポジウム、トルコ、H17.9.25~10.2
 - ・ 2006 年海洋科学会議、アメリカ合衆国、H18.2.19~26
 - ・ 第 37 回海洋ダイナミクスに関する国際リエージュコロキウム、ベルギー、H17.5.1~8
 - ・ THORPEX 太平洋予測可能性実験ワークショップ、アメリカ合衆国、H17.6.5~9
 - ・ IAMAS2005 及び THORPEX アジア地域委員会第 3 回会合、中華人民共和国、H17.8.2~11
 - ・ THORPEX 執行委員会第 1 回会合、スイス、H17.8.31~9.4
 - ・ 第 5 回アジアモンスーンシステムに関する国際会議、大韓民国、H17.10.10~16
 - ・ WMO 大気科学委員会 (CAS) 観測システム研究・予測可能性実験 (THORPEX) 国際運営委員会第 5 回会合及び WMO/TMRP 熱帯/温帯相互作用に関する国際ワークショップ、オーストラリア、H17.11.28~12.7
 - ・ 米国降水ミッションサイエンスチーム会合及び日米合同 TRMM サイエンス科学会合、アメリカ合衆国、H17.12.11~17
 - ・ 第 86 回米国気象学会年会、アメリカ合衆国、H18.1.29~2.4
 - ・ WWRP/THORPEX 科学会議「ハインパクトウェザーの全球予測可能性の向上」、南アフリカ共和国、H18.2.11~17
 - ・ 熱帯対流と MJO の組織化と維持に関するワークショップ並びに THORPEX ワークショップ、作業部会会合及び科学・技術諮問委員会会合、イタリア及び英国、H18.3.12~26
- 中野俊也
中野英之
- ・ 2006 年海洋科学会議、アメリカ合衆国、H18.2.19~26
 - ・ AGU Chapman Conference on Jets and Annular Structures in Geophysical Fluids、アメリカ合衆国、H18.1.8~14
 - ・ 2006 年海洋科学会議、アメリカ合衆国、H18.2.19~26
- 野田 彰
- ・ EGU2005 年総会、オーストリア、H17.4.24~5.1
 - ・ IPCC 第一作業部会第 2 回執筆者会合、中華人民共和国、H17.5.9~13
 - ・ IPCC 第一作業部会第 3 回執筆者会合、ニュージーランド、H17.12.11~16
 - ・ 第 8 回最先端並列計算機における次世代気候モデル開発に関わるワークショップ及び第 3 回共生ワークショップ、アメリカ合衆国、H18.2.22~27
- 萩野谷成徳
- ・ チベット高原及びその東部周辺地域への気象観測システムの構築指導と集中観測計画の立案のための会議、中華人民共和国、H17.12.3~9
 - ・ 境界層観測システムの観測データ解析の技術指導及び活動計画検討のための合同調整委員会、中華人民共和国、H18.3.12~18

- 長谷川洋平 ・ WMO 第Ⅱ/第Ⅴ地区指導者研修セミナーにおける津波に関する講義、マレーシア、H17.5.20～25
- 平原幹俊 ・ 2005年惑星力学に関する国際シンポジウム、オーストラリア、H17.8.21～27
- 廣瀬勝己 ・ IAEA 環境プログラム評価委員会、モナコ及びオーストリア、H17.7.3～13
 ・ IAEA 環境計画の評価に関する現地調査、フィリピン、H17.8.14～20
- 深堀正志 ・ 第7回大気分光の応用に関する会議、フランス、H17.9.5～10
- 藤井陽介 ・ 第4回 WMO 気象学と海洋学における観測データの同化に関する国際シンポジウム及び EGU 2005 年総会、チェコ及びオーストリア、H17.4.17～5.1
 ・ 2005年惑星力学に関する国際シンポジウム、オーストラリア、H17.8.21～27
 ・ 国際シンポジウム「衛星高度計観測における15年間の進展」、イタリア、H18.3.12～20
- 保坂征宏 ・ 第1回気候と雪氷圏計画科学会議、中華人民共和国、H17.4.10～16
 ・ 第86回米国気象学会年会、アメリカ合衆国、H18.1.28～2.4
- 前田憲二 ・ 2004年スマトラ島沖地震によるインドの津波被害状況調査、インド、H17.4.7～14
- 松枝秀和 ・ 第7回国際二酸化炭素会議、アメリカ合衆国、H17.9.25～10.2
 ・ 日韓の共同観測に関する意見交換、大韓民国、H17.12.12～15
- 松本 聡 ・ 国際シンポジウム「衛星高度計観測における15年間の進展」、イタリア、H18.3.12～20
- 馬淵和雄 ・ 第7回国際二酸化炭素会議、アメリカ合衆国、H17.9.24～10.2
- 三上正男 ・ AOGS 第2回年会、シンガポール、H17.6.19～25
 ・ 国際気象学・大気科学協会 2005年科学会議、中華人民共和国、H17.8.7～12
 ・ 現地観測実施のための打合せ及び予備調査、オーストラリア、H17.10.10～19
 ・ 第11回地域規模大気沈着国際セミナー及び風送ダストに関する研究打合せ、大韓民国、H17.11.23～29
 ・ アメリカ地球物理学連合 2005年秋季大会、アメリカ合衆国、H17.12.4～11
 ・ JADE に関する研究打合せ、中華人民共和国（香港）、H18.2.3～13
 ・ JADE のためのオーストラリア現地観測、オーストラリア、H18.2.19～3.19
- 緑川 貴 ・ 第7回国際二酸化炭素会議、アメリカ合衆国、H17.9.25～10.2
- 村上正隆 ・ 気象変化に関するワークショップ、大韓民国、H17.11.27～12.1
- 室井ちあし ・ 第8回最先端並列計算機における次世代気候モデル開発に関わるワークショップ及び第3回共生ワークショップ、アメリカ合衆国、H18.2.22～27
- 本井達夫 ・ 2005年惑星力学に関する国際シンポジウム、オーストラリア、H17.8.21～27
 ・ IGCP-476 第3回国際シンポジウム「新生代におけるアジアの地質構造と気候の進展及びその東アジア縁辺海へのインパクト」、ロシア、H17.9.20～25
 ・ アメリカ地球物理学連合 2005年秋季大会及び過去の赤道太平洋の力学に関する第4回ワーキンググループ会合、アメリカ合衆国、H17.12.5～13
- 安田珠幾 ・ 2006年海洋科学会議、アメリカ合衆国、H18.2.19～26
- 山崎明宏 ・ ハワイ島における日射計検定観測、アメリカ合衆国、H17.11.7～13
 ・ ハワイ島における日射計検定観測、アメリカ合衆国、H17.12.5～9
 ・ 中国での散乱・吸収係数測定装置による試験観測及び放射計の保守、中華人民共和国、H18.3.9～21
- 山崎信雄 ・ 第5回アジアモンスーンシステムに関する国際会議、大韓民国、H17.10.10～16
- 吉村 純 ・ 気候変動枠組み条約第11回締結国会議（COP11）及び京都議定書の発効に伴う第1回締結国会議（COP/MOP1）、カナダ、H17.11.26～12.5

8.2. 受入研究員等

特別研究員制度（独立行政法人 日本学術振興会）

優れた若手研究者に、その研究生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えること、また、世界の最高水準の研究能力を有する若手研究者を養成・確保することを目的とした制度。

平成 17 年度はこの制度により次の 1 名を受け入れた。

長谷川拓也

期 間：平成 16 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

研究課題名：太平洋海洋表層貯熱量の時間空間変動特性

受入研究者：石崎 廣

外国人特別研究員制度（独立行政法人 日本学術振興会）

個々の外国人特別研究員の研究の進展を援助するとともに我が国及び諸外国における学術の進展に資することを目的とし、諸外国の若手研究者に対し、我が国の大学等において日本側受入研究者の指導のもとに共同して研究に従事する機会を提供する制度。

平成 17 年度はこの制度により次の 1 名を受け入れた。

Dr. Zhou Bing

期 間：平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 4 月 9 日

研究課題名：衛星搭載マイクロ波センサーデータを用いた、北大西洋における台風の強度推定法の開発

受入研究者：中澤哲夫

理工系大学院生研究支援事業（Winter Institute）（社団法人 科学技術国際交流センター）

日本の研究者の研究に対する考え方や方法についての理解を深めることにより、将来の日韓間の科学技術分野での交流・協力の一層の促進を目的とし、韓国の大学院生（博士または修士課程在学中）を冬期約 2 ヶ月間日本の独立行政法人、国立研究機関等に招聘する事業。

平成 17 年度はこの事業により次の 1 名を受け入れた。

Miss. Lee Hyun Jin（釜山大学校大気科学科）

期 間：平成 17 年 1 月 25 日～平成 17 年 2 月 5 日

担当研究者：増田一彦

重点研究支援協力員（独立行政法人 科学技術振興機構）

研究者が研究開発に専念し、創造性を十分に発揮するために、研究活動を支援する高度な知識・技術を有する者を国立試験研究機関及び試験研究を行う独立行政法人に派遣し、的確な研究支援体制を整備し、創造的・基礎的研究の効率的、効果的な推進を図る制度。

平成 17 年度は、この制度により計 7 名の協力員による支援を受けた。

客員研究員

当所の研究の効率的な推進に資することを目的とし、当該研究に関する高度の専門知識を有し、当該研究を円滑に実施する能力がある研究者を客員研究員として受け入れている。

平成 17 年度は次の 7 名を受け入れた。

佐藤康雄

期 間: H16.4.16～

研究課題名: 地域気候モデルによる砂漠・半乾燥域の気候シミュレーション

受入研究部: 環境・応用気象研究部

高谷美正

期 間: H16.4.16～

研究課題名: ドップラーレーダに関する基礎的・応用的研究

受入研究部: 気象衛星・観測システム研究部

田中豊顕

期 間: H16.5.10～

研究課題名: 氷晶核の研究

受入研究部: 物理気象研究部

伊藤朋之

期 間: H16.5.25～

研究課題名: 気候システムにおけるエアロゾルの挙動に関する研究

受入研究部: 環境・応用気象研究部

岡田正實

期 間: H17.4.1～

研究課題名: ベイズ統計理論を用いた地震の発生確率予測に関する研究

受入研究部: 地震火山研究部

吉田明夫

期 間: H17.4.1～

研究課題名: 地震・地殻変動観測データの高度利用に関する研究

受入研究部: 地震火山研究部

小村和久

期 間: H17.6.22～

研究課題名: 環境中の極低レベル人工放射性核種の分布と挙動の研究

受入研究部: 地球化学研究部

8.3. 海外研究機関等からの来訪者等

招聘研究者

Dr. Maria Constanza Arango MARTINEZ (コロンビア水理気象研究所)

Dr. Jose Franklyn Murcia RUIZ (コロンビア水理気象研究所)

Dr. Dennis Sylvestre GONGUEZ (ベリーズ国家気象局)

Dr. John Leonard CHARLERY (西インド大学)

期 間: 平成 17 年 8 月 1 日～平成 17 年 8 月 31 日

用 務: 「高精度・高分解能気候モデルの開発」による予測結果を基に各国での影響評価を行うための打ち合わせ (世界銀行)

担当研究者: 楠 昌司

Dr. Purevjav Gomboluudev (モンゴル気象水文研究所)

期 間: 平成 17 年 11 月 25 日～平成 17 年 12 月 21 日

用 務: 領域気候モデルの性能確認に関する意見交換

担当研究者: 栗原和夫

Mr. Sampan Thaikruawan (タイ気象局)

期 間: 平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 5 月 29 日

用 務: 台風の数値モデリングの研修

担当研究者: 上野 充

Dr. Jost Heintzenberg (ドイツ対流圏研究所)

期 間: 平成 18 年 3 月 2 日～平成 18 年 3 月 16 日

用 務: 大気エアロゾルの混合状態に関する意見交換

担当研究者: 岡田菊夫

Dr. David Parsons (米国大気研究センター)

期 間: 平成 18 年 3 月 5 日～平成 18 年 3 月 8 日

用 務: 全球大気顕著現象の予測可能性研究計画 (THORPEX) の日本での研究戦略策定に関する意見交換

担当研究者: 中澤哲夫

JICA 研修受け入れ

集団研修 (気象学)

期 間: 平成 17 年 10 月 19 日～平成 17 年 10 月 21 日

Mr. Sedira Mohammed Lamine (アルジェリア気象局 予報官)

Mr. Ratan Md. Rashaduzzaman (バングラデシュ気象局 気象官)

Mr. Michael Nagesh Woldu (エリトリア民間航空局 気象課長)

Mr. Singh Tan (フィジー気象局 研修管理官)

Mr. Riris Adriyanto (インドネシア気象・地球物理局 気象官)

Mr. Kireua Tareti (キリバス気象局 上級観測・管理官)

Mr. Kousonsavath Surinh (ラオス気象局 観測所ネットワーク課課長補佐)

Ms. Wane Sokhna Yaya (セネガル気象局 予報官)

フィリピン地震火山観測網整備プロジェクト「地震学 (地震データ処理)」(国別研修)

期 間: 平成 18 年 1 月 10 日～平成 18 年 2 月 24 日

Ms. Jane T. Punongayan (フィリピン火山地震研究所)

9. 委員・専門家

ここでは、平成 17 年度に気象研究所の職員が外部機関から委嘱を受けた委員・専門家（平成 17 年度以前からの継続を含む）について、個人別に 50 音順で掲載している。

9.1. 国際機関の委員・専門家

- 五十嵐康人 ・ 気候と大気研究に応用される自然放射の発生と計測に関する専門家国際会議科学諮問委員
- 蒲地政文 ・ 全球気候観測システム (GCOS) * 気候のための海洋観測パネル (OOPC) 全球海洋データ同化実験科学運営チーム (GODAE-IGST) 委員
- 鬼頭昭雄 ・ 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第一作業部会 (WG1) リードオナー
・ 国際科学会議 (ICSU) 気象・大気科学国際協会 (IAMAS) 国際気候委員会 (ICCL) 委員
・ 国際太平洋研究センター・科学諮問会議 (IPRC/SAC) 委員
- 小寺邦彦 ・ 世界気候研究計画 (WCRP) * 成層圏気候影響研究計画-科学運営委員会 (SSG-SPARC) ワーキンググループリーダー (GRIPS 成層圏モデル比較議長)
- 榊原 均 ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会 専門部会委員
- 杉 正人 ・ 気候委員会 (CCI) * 委員
- 中澤哲夫 ・ 大気科学委員会 (CAS) * 観測システム研究・予測可能性実験-国際科学専門会 (ISSC-THORPEX) 委員 (アジア THORPEX 議長)
・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会 幹事会委員
- 野田 彰 ・ 気候委員会 (CCI) * 委員
・ 世界気候研究計画 (WCRP) * 合同科学委員会/気候変動予測研究計画における結合モデル作業部会 (JSC/CLIVAR WGCM) 共同副議長
・ 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第一作業部会 (WG1) リードオナー
- 濱田信生 ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会 専門部会委員
- 山崎信雄 ・ 大気科学委員会 (CAS) * 熱帯気象研究に関する作業部会 (WGTMR) 東アジアモンスーンに関する国際パネル (IPEAM) 委員
- 斉藤和雄 ・ 大気科学委員会 (CAS) * 熱帯気象研究に関する作業部会 (WGTMR) 熱帯の狭領域モデルの開発と数値予報プロダクトの利用に関するラポーター
- 松枝秀和 ・ 大気科学委員会 (CAS) * 環境汚染及び大気化学に関する作業部会 (WGEPAC) 温室効果ガス及びその気候への影響に関するラポーター
- * 世界気象機関 (WMO) に属する委員会等

9.2. 国内機関の委員・専門家

- 相澤竜哉 ・(社)日本気象学会 第34期役員選挙管理委員会委員
- 青木輝夫 ・(社)日本気象学会 第33期 SOLA 編集委員会委員
- 青梨和正 ・(学)東海大学情報技術センター 地球環境変動観測ミッション(GCOM)委員会委員
- 青山道夫 ・(学)東海大学情報技術センター 地球環境変動観測ミッション(GCOM)委員会委員
- ・(社)日本アイソトープ協会 第20期理工学部会超低レベル放射能測定専門委員会委員
- ・茨城県 茨城県東海地区環境放射線監視委員会調査部会専門員
- ・(独)日本原子力研究開発機構 環境分析研究委員会委員
- 五十嵐康人 ・(財)日本分析センター 平成17年度環境放射線等モニタリングデータ評価検討会委員
- ・日本地球化学会 「地球化学」編集委員会編集委員
- ・国連科学委員会国内対応委員会 国連科学委員会国内対応委員会コンポレデンスメンバー
- 石井雅男 ・(財)地球科学技術総合推進機構 平成17年度「海洋中二酸化炭素の次世代分析装置の開発」研究運営委員会委員
- ・(独)海洋研究開発機構 地球観測システム構築推進プラン「海洋二酸化炭素センサー開発と観測基盤構築」研究運営委員会委員
- ・株式会社三菱総合研究所 地球温暖化連携拠点準備ワーキンググループ炭素循環(海洋)ワーキンググループ委員
- ・国立極地研究所 国立極地研究所生物・医学専門委員会委員
- 石崎 廣 ・東京大学気候システム研究センター 研究協議会委員
- 石元裕史 ・(社)日本リモートセンシング学会 学会誌編集委員会委員
- 伊藤秀美 ・国土地理院 地震予知連絡会第19期委員
- ・(独)土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会日本側専門部会委員
- 井上豊志郎 ・(社)日本気象学会 第33期山本・正野論文賞推薦委員会委員
- 永戸久喜 ・(社)日本気象学会 第33期講演企画委員会委員
- 大山準一 ・(独)海洋研究開発機構 人・自然・地球共生プロジェクト課題7運営委員会委員
- ・海洋気象学会 理事
- ・環境省地球環境局 平成17年度地球環境研究企画委員会「第2研究分科会」委員
- 岡田菊夫 ・国立極地研究所 国立極地研究所気水圏専門委員会委員
- 小野木 茂 ・(財)気象業務支援センター 気象予報士試験委員会作業部会部員
- 勝間田明男 ・(社)日本地震学会 地震編集委員会委員
- ・(財)震災予防協会 機関紙「震災予防」編集委員会委員
- ・東京大学地震研究所 地震予知研究協議会計画推進部会委員
- ・文部科学省研究開発局 地震調査研究推進本部専門委員
- 加藤輝之 ・(社)日本気象学会 第33期気象集誌編集委員会委員
- 蒲地政文 ・統計数理研究所 客員教授(アジョイント法のアプローチからの先端的データ同化手法開発)
- ・(独)海洋研究開発機構 地球観測システム構築推進プラン「インド洋観測研究ブイネットワーク構築」研究運営委員会委員
- ・(独)水産総合研究センター東北区水産研究所 運営費交付金プロジェクト研究「太平洋及び我が国周辺の海況予測モデルの開発」評価委員
- 上口賢治 ・(社)日本気象学会 第33期天気編集委員会委員
- 鬼頭昭雄 ・(独)海洋研究開発機構、(財)地球・人間環境フォーラム、(財)地球産業文化研究所

IPCC 国内連絡会メンバー

- ・(社)日本気象学会 第33期 SOLA 編集委員会委員
- ・筑波大学 計算科学研究センター共同研究員
- ・(独)海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター評価委員会委員
- ・筑波大学大学院生命環境科学研究科 客員教授
- ・総合地球環境学研究所 研究プロジェクト「乾燥地域の農業生産システムに及ぼす地球温暖化の影響」共同研究員
- ・国際日本文化研究センター 共同研究員(日本文明史の再建)
- ・東京大学生産技術研究所 地球観測システム構築推進プラン「地球観測による効果的な水管理の先導的実現」研究運営委員会委員
- 木下宣幸 ・(独)土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会日本側作業部会 D 委員
- 楠 研一 ・(社)日本気象学会 第33期講演企画委員会委員
- 楠 昌司 ・(財)地球科学技術総合推進機構 「高精度・高分解能気候モデルの開発」研究運営委員会委員
- ・(社)日本気象学会 第33期気象研究ノート編集委員会委員
- 黒木英州 ・(社)日本地震学会 代議員
- 齊藤 秀 ・(財)地球科学技術総合推進機構 平成17年度「海洋中二酸化炭素の次世代分析装置の開発」研究運営委員会委員
- 斉藤和雄 ・(社)日本気象学会 第33期監事
- ・(社)日本気象学会 第33期 SOLA 編集委員会委員
- 榊原 均 ・(独)土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会日本側作業部会 D 委員
- 柴田清孝 ・(社)日本気象学会 第33期気象集誌編集委員会委員
- ・(独)国立環境研究所 客員研究員「オゾン層破壊の長期変動要因の解析と将来予測に関する研究」
- 小司禎教 ・(社)日本気象学会 第33期天気編集委員会委員
- 杉 正人 ・名古屋大学地球水循環研究センター IHP 分科会トレーニング・コース WG 委員会委員
- ・(財)気象業務支援センター 気象予報士試験委員会委員
- ・(財)日本気象協会(事務局) 将来における気象予測懇談会委員
- 清野直子 ・(社)日本気象学会 第33期気象研究ノート編集委員会委員
- 関山 剛 ・(社)日本気象学会 第33期天気編集委員会委員
- 高野洋雄 ・(社)日本気象学会 第33期教育と普及委員会委員
- 高橋 宙 ・(社)日本気象学会 第33期天気編集委員会委員
- 高藪 出 ・(財)気象業務支援センター 気象予報士試験委員会作業部会部員
- 高山博之 ・東京大学地震研究所 地震予知研究協議会計画推進部会委員
- 千葉 長 ・経済産業省原子力安全・保安院 総合資源エネルギー調査会臨時委員
- ・茨城県 茨城県東海地区環境放射線監視委員会評価部会専門員
- ・(財)日航財団 航空機による大気組成観測推進委員会委員
- ・(財)国土技術研究センター 国土交通省総合技術開発プロジェクト「都市空間の熱環境評価・対策技術の開発」熱環境評価技術・都市空間形成 WG 委員
- ・茨城県 茨城県東海地区環境放射線監視委員会評価部会専門員
- 永井智広 ・(社)計測自動制御学会計測部門リモートセンシング部会 リモートセンシング部会運営委員

- ・第 23 回レーザレーダ国際会議組織委員会 第 23 回レーザレーダ国際会議組織委員会委員
- ・レーザレーダ研究会 レーザレーダ研究会運営委員
- ・首都大学東京システムデザイン学部 地球観測システム構築推進プラン「二酸化炭素鉛直分布観測ライダーの技術開発」研究運営委員会委員
- 仲江川敏之
 - ・水文・水資源学会 編集出版委員会委員
 - ・総合地球環境学研究所 研究プロジェクト「都市の地下環境に残る人間活動の影響」共同研究員
- 中川慎治
 - ・(独)土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会日本側作業部会 D 委員
- 中澤哲夫
 - ・(財)地球科学技術総合推進機構 「高精度・高分解能気候モデルの開発」研究運営委員会委員
 - ・(社)日本気象学会 第 33 期国際学术交流委員会委員
 - ・(社)日本気象学会 第 33 期 SOLA 編集委員会委員
 - ・(学)東海大学情報技術センター 地球環境変動観測ミッション(GCOM)委員会委員
 - ・(独)海洋研究開発機構 地球観測システム構築推進プラン「海大陸レーダーネットワーク構築」研究運営委員会委員
 - ・(独)土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会幹事会委員
 - ・(独)土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会日本側幹事会委員
- 根津康洋
 - ・つくば WAN 事務局(研究交流センター) つくば WAN 研究交流委員会委員
- 野田 彰
 - ・(財)地球科学技術総合推進機構 「高精度・高分解能気候モデルの開発」研究運営委員会委員
 - ・(独)海洋研究開発機構、(財)地球・人間環境フォーラム、(財)地球産業文化研究所 IPCC 国内連絡会メンバー
 - ・(独)海洋研究開発機構 地球シミュレータ計画推進委員会委員
 - ・京都大学大学院理学研究科 非常勤講師(客員教授)
 - ・北海道大学歯学部 非常勤講師
 - ・東京大学気候システム研究センター 共生プロジェクト第 1 課題「高分解能大気海洋モデルを用いた地球温暖化予測に関する研究」運営委員会委員
 - ・(独)宇宙航空研究開発機構宇宙利用推進本部 地球観測利用推進委員会委員
 - ・(独)国立環境研究所 平成 17 年度スーパーコンピュータ関連研究ステアリンググループ委員
- 長谷川洋平
 - ・文部科学省研究開発局 地球観測国際戦略策定検討会実施計画部会委員
- 林 豊
 - ・文部科学省研究開発局 地震調査研究推進本部専門委員
- 林 修吾
 - ・(社)日本気象学会 第 33 期天気編集委員会委員
- 廣瀬勝己
 - ・茨城県 茨城県東海地区環境放射線監視委員会委員
 - ・茨城県 茨城県原子力審議会委員
 - ・(財)日本分析センター 平成 17 年度精度管理検討委員会委員
 - ・(財)日本分析センター 平成 17 年度トリウム分析法ワーキンググループ委員
 - ・茨城県 茨城県東海地区環境放射線監視委員会委員
 - ・内閣府原子力安全委員会事務局 原子力安全委員会原子炉安全専門審査会審査委員

- ・内閣府原子力安全委員会事務局 原子力安全委員会核燃料安全専門審査会審査委員
- ・文部科学省科学技術・学術政策局 放射線審議会委員
- ・内閣府原子力安全委員会事務局 原子力安全委員会専門委員
- 深堀正志
 - ・(社)日本気象学会 第33期用語委員会委員
 - ・首都大学東京システムデザイン学部 地球観測システム構築推進プラン「二酸化炭素鉛直分布観測ライダーの技術開発」研究運営委員会委員
- 福井敬一
 - ・(財)資源・環境観測解析センター EOS データ利用専門委員会専門委員
- 藤枝 鋼
 - ・(社)日本気象学会 第33期講演企画委員会委員
 - ・東京大学気候システム研究センター 温室効果ガス観測技術衛星データ利用検討委員会委員
- 藤谷徳之助
 - ・(独)科学技術振興機構 研究領域「マルチスケール・マルチフィジックス現象の統合シミュレーション」領域アドバイザー
 - ・(独)産業技術総合研究所地質調査情報センター 地質情報分野知的基盤整備目標検討委員会委員
 - ・文部科学省研究開発局 地球観測国際戦略策定検討会委員
 - ・文部科学省研究開発局 科学技術・学術審議会臨時委員(研究計画・評価分科会)
- 藤部文昭
 - ・(社)日本気象学会 第33期常任理事
 - ・(社)日本気象学会 第33期天気編集委員会委員
 - ・(社)日本気象学会 第33期講演企画委員会委員
 - ・(社)日本気象学会 第33期奨励賞・各賞委員会委員
 - ・(独)防災科学技術研究所 大型降雨実験施設運用委員会委員
 - ・(独)土木研究所 降雨特性の長期変動検討会委員
- 別所康太郎
 - ・(社)日本気象学会 第33期天気編集委員会委員
- 保坂征宏
 - ・(財)地球科学技術総合推進機構 「高精度・高分解能気候モデルの開発」研究運営委員会委員
 - ・(社)日本気象学会 第33期気象集誌編集委員会委員
- 前田憲二
 - ・文部科学省研究開発局 地震調査研究推進本部専門委員
- 増田一彦
 - ・(財)資源・環境観測解析センター EOS データ利用専門委員会専門委員
- 松枝秀和
 - ・(財)日航財団 航空機による大気組成観測推進委員会委員
 - ・山形大学理学部 非常勤講師
 - ・首都大学東京システムデザイン学部 地球観測システム構築推進プラン「二酸化炭素鉛直分布観測ライダーの技術開発」研究運営委員会委員
 - ・株式会社三菱総合研究所 地球温暖化連携拠点準備ワーキンググループ炭素循環(大気)ワーキンググループ委員
 - ・文部科学省研究開発局 科学技術・学術審議会専門委員(研究計画・評価分科会)
- 三上正男
 - ・(社)日本気象学会 第33期常任理事
 - ・(社)日本気象学会 第33期国際学術交流委員会委員
 - ・(社)日本気象学会 第33期地球環境委員会委員
 - ・(社)日本気象学会 第33期 SOLA 編集委員会委員
 - ・(社)海外環境協力センター 黄砂問題検討会委員
- 緑川 貴
 - ・(財)地球科学技術総合推進機構 平成17年度「海洋中二酸化炭素の次世代分析装置の開発」研究運営委員会委員
- 村上正隆
 - ・(社)日本気象学会 第33期気象集誌編集委員会委員

- ・(社)日本気象学会 第33期用語委員会委員
- 室井ちあし ・(財)地球科学技術総合推進機構 「高精度・高分解能気候モデルの開発」研究運営委員会委員
- ・文部科学省研究振興局 科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会情報科学技術委員会計算科学技術推進ワーキンググループ専門委員
- 山下景子 ・(社)日本気象学会 第33期役員選挙管理委員会委員
- 山本 哲 ・(社)日本気象学会 第33期天気編集委員会委員
- 山本剛靖 ・東京大学地震研究所 地震予知研究協議会計画推進部会委員
- 吉崎正憲 ・(財)地球科学技術総合推進機構 「高精度・高分解能気候モデルの開発」研究運営委員会委員
- ・(社)日本気象学会 第33期山本・正野論文賞推薦委員会委員
- ・(社)日本気象学会 第33期 SOLA 編集委員会委員
- ・筑波大学大学院生命環境科学研究科 客員教授
- 吉田康宏 ・(社)日本地震学会 代議員
- ・東京大学地震研究所 地震予知研究協議会計画推進部会委員
- ・(独)建築研究所 国際地震工学研修カリキュラム部会委員
- ・文部科学省研究開発局 地震調査研究推進本部専門委員
- 益子 渉 ・(財)日本気象協会 「台風時の内湾海上風推算の研究」ワーキンググループ委員
- 小林隆久 ・(財)原子力安全研究協会 原子力気象数値モデル検討専門委員会委員
- ・(株)東洋設計 複雑地形における乱流ガイドライン検討委員会委員

気象研究所年報（平成 17 年度）

編集・発行 気象庁 気象研究所
〒 305-0052 茨城県つくば市長峰 1-1
電話：(029) 853-8546
URL：http://www.mri-jma.go.jp

印 刷 松枝印刷株式会社

